

市民生活の安全・  
安心について



伊賀 純 議員

**質問**…市民の命と健康を守るAED設置の現況を伺います。

**答弁**…市の把握箇所は、市関連施設や、独自設置している事業所など全域で188カ所です。

**質問**…市内の要請を受けた救急車の到着に最も時間がかかるエリアはどこか。また時間はどれ位かかるのか伺います。

**答弁**…須賀川地区で、30分以上は掛かると思います。

**質問**…命の重さに対する地域間の格差を減らすため、早期医療介入が難しいエリアの各集会場などに配備しても建物の外側に設置してなければ、夜間や休館時、窓を割らないとAEDを手

にできないので、設置場所について伺います。

**答弁**…基本的に室内に入っている。人命を一番重要視して、鍵を壊して入る事も考えられる。

**質問**…他人の建物を割る勇気を私達が判断するのはとても大きい。外部設置を考えるべきだが。

**答弁**…外でも盗難はないと思う。議員の提案なので今後検討する。

**質問**…企業が配備しているものも、官民合同で大田原AEDネットワーク化を進めるべきだが。

**答弁**…設置場所は把握している。民間の協力が得られるか協議には当たってみたい。

一般質問



星 雅人 議員

来年度予算案における祭り・イベントへの補助金について

**質問**…与一まつりの3年間休止の検討に至った経緯と根拠を伺いたい。

**答弁**…与一まつりは今年度第39回を迎え、市民総参加のお祭りとして、与一武者行列には643名、与一踊りには2460名の参加をいただいた。会場には11万8千人の観客が来場し、本市の夏の風物詩として盛大に開催できた。与一まつりの課題に、

与一武者行列での熱中症対策がある。開始時間の変更やイベント時間の短縮等、参加児童の体力的な負担の軽減を図り、一定の効果があつたと考えているが、

万全な対策がとれているとは言いがたく、事故への懸念が常にあつた。その他にも与一踊りの是非など、与一まつりをゼロベースで見直す熟慮の期間が必要と考えている。次年度は東京オリ

ンピック・パラリンピックの開催時期となり、会場設営機材のレンタル料の高騰や警備員、ボランティア等の確保も危惧される。2022年には、いちご一会とちぎ国体が開催され、前年のプレ大会を始め各種イベントの実施等、業務量の増加が見込まれ、重複してイベントを実施することは市職員による対応にも限界があると感じている。